

狙われる 子どもたち

子どもの
危険回避
マニュアル



DVD
VIDEO
限定版



企画●群馬県小中学校PTA連合会
制作・頒布●群馬県PTA安全互助会
制作担当●星野本三

ご挨拶

群馬県小中学校PTA連合会会長 木村滋洸
群馬県PTA安全互助会理事長 松島宏明

現在、子どもたちを取り巻く環境はますます悪化し、安全対策が国民的な問題になっていると言っても過言ではありません。このような状況の中で、卑劣な犯罪者から子どもを守るための啓発教材を、群馬県小中学校PTA連合会および群馬県PTA安全互助会が協同して作成することになり、この度、ビデオ教材として完成することができました。

これは、平成15年度の群馬県小中学校PTA連合会広報紙の特集として、当時広報委員長だった星野本三氏が、書籍「変質者の罠から子どもを守る法」（人間と歴史社）を参考にして書いた記事「子どもは35秒でだまされる」をもとに脚本化し、同氏の熱意と支援をいただき、それぞれの専門家に相談・依頼し、保護者向けの参考資料として制作したものです。

つきましては、群馬県下の全小学校等へ無償頒布することになりましたので、低学年の子どもをもつ保護者や教師等の参考資料として、ご活用いただければ幸いです。

2005年7月



DVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。左のロゴマークの付いたDVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。●このディスクは【上巻】【下巻】で構成されています。ディスクをプレーヤーに挿入すると、自動的にトップメニュー画面が表示されます。トップメニューの上・下巻のいずれかを選択すると、それぞれのイントロ映像が再生され、終了後、選択した巻のメニュー画面が表示されます。そのメニュー画面から、[全編スタート]メニューか、[各チャプター]メニューの選択操作をして、再生することができます。■このビデオグラムは日本国内での視聴に限定されております。このDVDビデオ及びパッケージに関して著作権者に無断で、複製、改変、放送、有線放送、インターネット等による公衆放送、公の上映、レンタル（有償・無償を問わず）等の行為を行うことは法律によって一切禁止されています。

狙われる 子どもたち

子どもの 危険回避 マニュアル



上巻

[実例] 変質者の罠—その手口

■図1 被害者の年齢分布 ■図2 犯罪の発生時間

1 いい人・悪い人の判断を子どもにまかせない!

- 接触してくる人物が悪意をもっているかどうかを、子ども自身が判断するのは無理と思わなければならない!
- 子どもは、他人を簡単にいい人と信じてしまうことを忘れない!
- 子どもが、人の悪意を判断することは無理、とっていないなければならない!
- 子どもには、話しかけてくる大人に、対応してはいけないと教えておく!

2 見知らぬ大人への接し方は注意する!

- 見知らぬ大人からものを頼まれたら「断る事」を覚えておく
- その頼みを断って恐怖を感じたら「逃げる事」を覚えておく
- 見知らぬ大人の体に触れてはいけないと教えておく

3 子どもの持ち物に気をつける!

—いつもと違うものを持っていたら子どもに聞いてみる

- 見過ごしてはならない危険信号

4 情報を管理する!

- 子どもの持ち物への記名は気をつける
- 子どもに簡単に名前を覚えてはいけないと教えておく
- 留守宅に帰宅する際は不審な人物がいないかを確認させる
- 留守番をしている時は、親がいないことを知られないように注意させる

5 緊急を装った誘拐への対処

- 信頼できる大人は誰なのかを事前にリストアップしておく
- 信頼できる人のリストを、子どもが記憶しているかを常に確認する
- リスト以外の大人について行ったり、車に乗ってはいけないと教えておく

■図3 過去10年の、未成年者が被害者の略取誘拐の認知件数

■図4 略取誘拐事件の被害者(年齢別)

子どもたちを「変質者の罠」から守ろう!

—誘拐、性犯罪、殺人…、子どもが犠牲になる事件が多発している現在、「私の子どもにかぎってそんなことは起らない」と思い続けることはもうできなくなりました。このビデオをとおして、変質者の悪質な手口の実例と、子どもを守るための具体的な予防策を学習し、保護者同士、教育・保育に携わる者同士、わたしたち大人が「子どもに何を教え」「何をしなくてはいけないのか」を考え、地域で安全対策に取り組みましょう。

下巻

[予防 対策] 子どもを守るための キーコンセプト

6 自分の子どもは狙われやすいのか?

- 子どもを死角となる場所に近づけない、これが防犯の基本
- 図5 被害にあった場所 ■図6 被害にあった時期
- 図7 被害時に何をしていたか

7 狙われやすい場所・時間は?

- 図8 ここが危い1 駅周辺 ■図9 ここが危い2 住宅街
- 図10 ここが危い3 公園付近

8 親の愛情表現のむずかしさ

—他人への接し方の指導について

- スキンシップをとおしながら、「良いもの」と「悪いもの」の区別を覚えておく
- 子どもが本能的に嫌と感じた時は、それを信じて行動することを覚えておく

9 性に関する教育の大切さ

- 親子間で、性や体のことをしっかり教えておく
- 子どもに、自分の体の他人に見せたり触れさせてはいけない部分を覚えておく

10 子どもに秘密をもたせてはいけない!

- 子どもにとって親は、何でも話せる相談相手であるという関係を築いておく
- 日頃から、子どもの交友関係や行動場所を把握しておく

11 子どもが被害者になったとき…

- 子どもの異変に気付いた時、原因を無理に聞き出すことは避ける
- 子どもの精神的な傷にならないように専門機関に相談する
- 第二、題三の犯罪を防ぐために犯罪を露見させる

12 幼い子どもが危険から自分で身を守るために 教えておくことは…

- 子どもに「危険エリア」とは何であるかをしっかり教える
- その「危険エリア」に入らないよう教える

13 家庭で出来る防犯!

- 防犯グッズの持ち方と使い方徹底する
- 子どもが自分の名前・住所・電話番号を言えるようにしておく
- 110番通報が出来るように教えておく
- 迷子になった時など、警察など身分確かな大人に助けを求めよう教える